

萱野小地域の校長先生からのご挨拶



箕面市立萱野小学校
校長 佐藤 秀昭
(さとう ひであき)

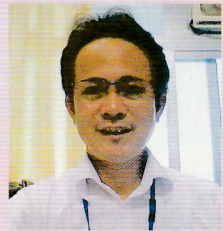
今こそ地域の力を生かして

いつもお世話になっております。着任してから今年度で2年目になります。校長の佐藤秀昭です。何卒よろしくお願いいたします。

昨年は、すべての地域との交流がなかなか進まない令和2年度となりました。2か月の休校など学校が経験したことのないような事態が多くありました。その中でも、地域から学校に寄せられる声はとても温かく学校の教育

活動を支えていただきました。

令和3年度は、一度滞ってしまった学校と地域とのつながりを新たに紡ぎなおす年度だと強く思っています。今も予断は許しませんが、今子どもたちにできることを地域とともに模索しながら教育活動を展開していきます。変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



箕面市立第二中学校
校長 俵積田 武志
(たわらつみだ たけし)

二中で育って 世界に羽ばたこう！

私はこの4月から校長として赴任しました俵積田武志と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は平成6年(1994年)4月から平成16年(2004年)3月までの10年間で第二中学校の教員として勤務していました。この10年間、嬉しいことも苦しいこといろいろありました。子どもたちととにかく正面から向き合ってきた毎日でありました。保護者のみなさまや地域の方々に支えていただき10年間を乗り越えていけたと心から思っています。

再び、今年から校長として勤めることになり、とても嬉しく思っています。子どもたちは授業や休み時間、どの場面でも温かい雰囲気を作ってくれています。先日、ALTの先生に「二中の子どもたちはどうですか?」と質問してみました。「フレンドリーです。あいさつとてもナイスです。」と明るく返事してくれました。それが二中の子

どもたち全般の様子を物語っています。これからもさらに温かい雰囲気を作り出す二中にしていきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響から保護者及び地域のみなさまに学校に来ていただく機会を設けることができていません。新しい生活様式のなかで、みなさまに二中の教育活動について情報をお伝えしていかなければなりません。オンラインによる情報発信もまだ始まったばかりでまだまだ模索中でありま。みなさまからもよりよい方法があれば学校に教えていただければ新しい連携の姿が見えてくるのではと思っています。

二中で過ごす3年間で、子どもたちは心も体も大きく成長します。いろいろなことがあるかと思えます。その経験を力にして、自分で決めた進路先で頑張っていける子どもたちを育てていきたいと思っています。今後とも地域のみなさまの温かいご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



箕面市立第五中学校
校長 島本 貞文
(しまもと さだふみ)

『自分に負けるなつとめよ支え合え』

みなさん、はじめまして。私はこのたび校長として赴任いたしました島本貞文です。昨年まで第二中学校の教頭を務めていましたので、萱野小の地域のみなさまの中には、お会いした方もいらっしゃるかもしれません。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

さて、五中に赴任してまず、「負けるな つとめよ 支え合え」の大きな言葉を目にしました。前任の吉田校長にこの言葉を尋ねますと、平成15年(2003年)3月31日に五中のスローガンとして制定されたものだそうです。当時の保護者の方がこの言葉に本当に救われましたと胸の内を話していただいて、制定されたそうです。その後も長くこの言葉は五中の中で大切に受け継がれ各教室にも掲示されています。私は、この言葉がそんな大切な言葉であるこ

とを知り、ならば学校目標にしようと考えました。今年度の学校目標は『自分に負けるな つとめよ 支え合え』と掲げました。

自分に負けるな、負けるなどは…しんどいことや、すべきことから逃げたいなどの自分の弱さに負けるな。不正に負けるな。

つとめよとは…自分のすべきことをしっかりとやり抜き、義務と責任を果たせ。努める、勉める、勤める、務める。

支え合えとは…横(学級、学年)に、縦(保護者、家族、教職員、先輩、後輩)に支え合え。良い伝統と文化を支え、過去と未来の命をつなげるように支え合える生徒を育成したいと考えております。

この言葉をしっかりと胸に抱き教職員一同頑張っています。地域のみなさま今後とも温かいご支援とご協力をお願いいたします。

